

上越市議会議員 宮崎朋子

— ミヤザキトモコ ギカイツウシン —

議会通信

◆令和5年度決算の審査/ 定例会・臨時会を振り返って

◆宮崎ともこの一般質問

- ①市内の保健センターの利活用は？
- ②上越市健康づくりポイント事業の方向性は？

◆地域の今とこれから

- ①県道新井柿崎線、議員連盟での要望
- ②近年の集中豪雨対策

◆議員活動奮闘記

～ 傲と欲～



Vol,17

発行月 2024年11月

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色「ヴィンテージピンク」
懐かしく、月日を感じる色。

所属

- 会派 つなぐ 代表
- 厚生常任委員会
- 議会運営委員会副委員長
- 災害対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟副会長
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 防災士議連
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

市民のために果敢
に取り組みます！

今と未来のための
福祉政策を推進！

新しい議会運営に
取り組みます！

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」配信中です！

パソコン、携帯、スマホ
からは非ご覧ください。



YouTube B面ともこ

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～ 傲と欲～

辞書によると「傲（ごう）」とは人間がおごりたかぶって、人を見下すさま。人はどの時点でそうになってしまうのか？そうってしまった時には、誰にも諭されないのでしょうか。

「欲」は穴が空いている、欠けている、満足しない状態。こちらの方が実に人間らしいと感じます。誰かと比べ、何かと比べ、時にうらやみ、もっともっとと願う、その感情は政治を志す者の原動力の1つなのでしょうか。利他欲の境地に至るには、まだまだ修行が足りません。

活動記録 (6/22～10/10)

- 市内行事参加・見学（上越まつり／三和区敬老会他）
- 市内団体参加（高校生向け市内企業説明会／本町商店街防災フェス／まちづくり大学主催女性議員との意見交換会／女性市議会議員と上越商工会議所女性会との意見交換会／さんわ祭り／高田公園清掃／ツキノワグマの生態を学ぶセミナー他）
- 市民要望の調査、立会等教育・交通安全対策・能登半島地震による住宅、歴史的建造物被害状況について・自動車運転安全装置・道路整備・河川他）
- 調査研究（全国の公共交通についてオンラインセミナー／公の施設の適正配置／保健センターの現状／同和研修／全国の健康ポイント事業他）
- 各派代表者会議（3回）● 議会運営委員会（6回）
- 議会改革推進特別委員会（3回）● 災害対策特別委員会
- 所管事務調査（上越市地域医療機構の経営状況について／第4期上越市中心市街地活性化プログラム傍聴他）
- 視察研修（厚生常任委員会／農議連／保倉川放水路整備促進議員連盟）
- 広報公聴委員会出席（7月21日）● 会派勉強会（2回）
- 県道新井柿崎線議員連盟要望会（8月19日）
- 議員勉強会（2回）● 地域協議会傍聴（清里区）
- 議会通信発刊（10月）
- 臨時会（7月19日・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正とそれに伴う補正予算について）● 否決／退職勧告決議）● 9月定例会（9月2日～26日）● 厚生常任委員会（2日間）● 一般質問（9月19日）● 厚生常任委員会懇談会（上越市中心障害者福祉団体連合会）



ツキノワグマの剥製～鳥獣被害も深刻です。
セミナーにて正しく理解し、対応を学びました。

● 12月議会の予定

12月4日（水）～12月18日（水）

議会傍聴には是非お越しください！

地域の今とこれから

◆今年も要望。人々の生活と密着～県道新井柿崎線～

朝晩の通勤通学、そして大型車両も多い県道新井柿崎線。この夏も、県議の先生方と共に議員連盟として、早期改修等を要望いたしました。近年は、橋の繋ぎ目段差による振動や歩行するに危険な箇所など、より住民の生活に直結する案件が出ています。実際、現地に立ってみるとビュンビュン走る車に怖さを感じます。そこに住む人の視点を忘れずに、引き続き課題解決へ向けて取り組んでまいります。



昨年も段差解消をした橋梁ジョイント部分。
スリップ事故などの危険も。（三和区内）

◆自治体がすべきこと～近年の集中豪雨災害に思う～

能登半島では、線状降水帯による集中豪雨で人々の命と財産が奪われました。一刻も早い復旧と寄り添いを望みます。当市も、平成7年には関川支川保倉川において甚大な被害が発生いたしました。市街地では、総合的な雨水排除計画を策定し、下水道雨水排除施設の整備を計画的に推進。河川以外にも、側溝、マンホールなど、危険箇所の点検、そして災害後の敏速、丁寧な復興支援が重要。これこそ自治体や議員の仕事。今後も問題提起をしながら、取り組んでまいります。



倒木による護岸の崩れは被害を増大させる要因に。
支流の倒木対応も要望。（三和区内）
猛暑と雨で護岸の雑草は伸び放題。流れに関わる場所は度々要望。（旧市内）

9月定例会 ～ 令和5年度の決算認定を行いました ～

(9月定例会より抜粋)

歳入	歳出
一般会計 108,767,363,000円	一般会計 103,667,140,000円
特別会計 43,659,862,000円 (国民健康保険、介護保険など)	特別会計 42,950,903,000円 (国民健康保険、介護保険など)
計 152,427,225,000円	計 146,618,043,000円

補正予算 (補正額) *能登半島災害救助費(7,184,000円)
*地域医療センター病院施設改修費(30,613,000円)
*歴史的建造物等整備支援事業(6,244,000円) 他

定例会・臨時会を振り返って

■上越市のインフラ～ガス・水道収入と運営について～

私たちの生活に直結するガスや水道事業。その収入は年々減少しています。その要因は、毎年の気温や人口減少、事業所の利用減など。令和5年度のガス事業の収益的収支は13,3%減(前年度比)、水道事業は1,0%減(前年度比)となりました。特に水道に関しては、節水型電化製品(トイレ等)や水を飲まない人が多いなど、省エネや生活様式の変化等の要因もあるとのこと。単年度収支の損失分は利益積立金から取り崩しながら、市民生活に支障が出ないよう長期的試算の上、運営をしています。農政建設常任委員会では、今後の課題について多くの質疑されました。営業努力としては、企業誘致や団地醸成に関わる新築への声かけを行なっていくとのこと。能登半島地震では上下水道に支障が出ましたが、水道事業では震度6強以上での耐震性能を基準として、現在40%の適合率をさらに上げていくため基幹管路等の更新を行っていくとしています。水や電気、ガスは大事な私たちの命綱。しっかり守り、維持していけるよう、議会としても注視してまいります。

■臨時会 ～辞職勧告決議から不信任案否決まで～

上越市長に対する辞職勧告決議、その後の不信任案不採択は、市民の皆様から様々な憤りやご不安のお声をいただくこととなりました。私達議員も、一人一人が思い悩み、出した結論でした。市民、そして市政にとっての最善を目指し、市議会も今以上に真摯につとめてまいります。

■第4期上越市中心市街地活性化プログラム(令和7～9年度)

高田、直江津地区を今後どう活性化していくか?について次期の計画(主にソフト事業)が出されました。このプログラムは第1期から早10年の月日が経ちました。文教経済常任委員会では、様々な視点で意見が出ました。①観光も大事だが、居住者が住みやすいまちを目指すべき②ソフトと言っても市民や団体の活動の高齢化や継続も難しい。今一度、ハードも含めた根本的なまちづくりが必要では?などなど。国の指針に基づくこのプロジェクトですが、まちづくりは全国一律ではありません。商売ができるまちを目指すのか?住みやすい街なかであるべきなのか?高齢化率が3割を超えた今、その方向性が問われます。今後、市民の皆様へパブリックコメントを行い、令和7年1月に公表される予定です。

■新上越斎場 ～建設工事着々と～

建物の老朽化と今後の需要を見据え、その性能向上と環境に配慮した新上越斎場は、令和6年12月の併用開始を目指し、現在工事が進められています。その特徴は、

- ①炉の増設。省エネルギー性の高い機器を整備。
 - ②待合室の分離でプライバシーに配慮。日本海と四季の庭園で心やすらぐ空間へ。
 - ③地元産杉や地元作家作品によるしつらい、雁木造りの建物など上越らしさを演出。
 - ④災害時にも安心のインフラ復旧対応。など
- 総事業費は約22億円。今後は、周辺道路の整備や環境づくりにも注視してまいります。



地元産杉を使った、広く開放的な玄関口。

詳しくは、上越市HP及び、かけはしをご覧ください → <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎ともこの一般質問



これまで福祉関連では、シニアパスポート事業、未病予防対策等について質問してまいりました。この度は「市民の健康増進」に関わる課題について問いました。

1 市内に9つある保健センター。もって活用できませんか?

Q 現在、保健センターでは母子や成人の健康相談等の業務が4割、それ以外の事業(地域支え合い事業等)が6割と、使い方も変化している。施設は立地的には良い場所にあるので、今後は、より市民が健康に興味関心を持ち、気軽に立ち寄れる場所であるべきと考えるがどうか? それには健康関連の民間事業者等との連携が必要と考えるがどうか。

A 保健センターは、地域にとって重要な場所。人口減少等で事業の集約化や外部団体への一部貸し出し等を行ってきた。現在はどこも空きスペースが無いので、考えは持ち合わせていない。市民が気軽に健康に関するセルフチェックが出来るコーナーやジム、健康的な食生活等の知識が学べる場等を望むが、条例上で利用料金や条件などはあるか?

A 保健センターの使用料は基本無料(一日限り等条件あり)。そのような要望があればまずは相談してほしい。対象者が限られる保健センターよりも、市民プラザやショッピングセンターなどの方が有効だと考える。市としても、民間事業者と連携して、市民が健康に関心を持てる事業を検討していきたい。



2、上越市健康づくりポイント事業、若者向けに見直ししては?

Q 近年はインターネットからの申し込みも増えていると聞く。より若者が興味関心を持つ内容や賞品の見直しを望むがどうか?

A 令和5年度の参加者は、3099人と年々増加。事業の目的である国民健康保険の特定健診受診率も53,7%と改善傾向である。事業内容や賞品等は適宜見直し、特に地産地消推進店の利用券は好評をいただいている。

Q 世の中に健康アプリが多くあるが、この事業の方向性はどうか?市の公式アプリなどの活用をしてはどうか?

A 一番の課題は、健康に関心の薄い人たちへのアプローチ。市民の健康意識向上のためにもデジタルと組み合わせた周知は検討していきたい。



ご報告-厚生常任委員会視察-(10/7～9)

①長野県松本市

ゼロカーボンとは、温室効果ガス排出量ゼロを目指すこと。

②大阪府NPO法人

ヤングケアラーは、過度の家族の世話等で、十分な教育が受けられていない子ども達のこと。

③山口県防府市

医療現場へのデジタル導入で、巡回診療や看護師、医師との遠隔連携、有事の際の医療体制確保が期待される。

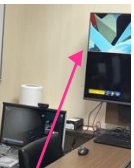
松本市では信州大学が中心となり共同体を設立。行政、企業、市民が何を頑張れば実現できるか?が実に明確。環境に配慮した公共交通の整備なども推進。再生エネルギーは、地域や市民にも還元。カギは官民連携と、当市の方向性が見えてきました。

ふうせんの会

近年は若年層にも見られ、その多くは、親や家族の役に立ちたいと強く願い、家族もまた行政に頼れない状況がある。単に寄り添いだけでは、包括的な行政の支援が急務と感じました。

山口県立総合医療センター

山口県はへき地が約6割。患者は都市部へ行かないと受診できなかったとのこと。2018年より、離島と基幹病院の医師同士がオンライン(パソコンで画面や通話を共有)診療を開始。離島にいる、研修を積んだ若手医師とセンターで、同じ画像を見ながらの顔の見える診療が可能。高齢患者の満足度も実が高く、医師不足解決の糸口にもなる。あくまで医療を補完する目的ですが、当市の中山間地域での活用や持続可能な医療のヒントを得ることができました。



一議会の様子はこちらでどうぞ(本会議/委員会等) → joetsu-city.stream.jfit.co.jp